

“食”行動科学 ～心と脳・体の仕組み～

日時
2017年 6月1日 (木)
10:30 ~ 16:30

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円
案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

＜お申込要項＞

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講座のポイント

人は「おいしい」食べ物の見た目引き付けられ、匂いに食欲を刺激され、食べたいと動機づけられたり、在りし日の思い出を想うなどの心的体験をします。食べるとは単にエネルギー・栄養の補給行動ではありません。「味わう」「嗅ぐ」などの感覚、「すき」「きれい」などの情動的評価、味やにおいの記憶や学習、そして、摂取への動機づけなどが絡み合う複雑な行動であり、それぞれの脳機構の解明が進んできました。特に食べ過ぎという食の問題の脳基盤も研究が進んでいます。
本セミナーでは食一般や食べ過ぎに関連する心的体験や行動の生理・脳・心理機構についての基礎と最先端の知見を紹介するとともに、未解明の課題についても触れたいと思います。

商品開発、マーケティングに携わる方には興味深い内容のセミナーです

講師 大阪大学大学院 人間科学研究科 行動生理学研究分野
博士(人間科学) 准教授 八十島(やそしま)安伸氏

内容 それぞれの項目について、一つ一つ詳しく解説します。

1. 食行動における味覚・嗅覚・視覚の働き
2. 味や匂いへの「すき」・「きれい」：脳・行動の仕組み
3. 食行動への情動系・ストレス系の作用：
ホルモンや生理活性物質の役割
4. 食物過剰摂取の脳・体・心のメカニズム
5. 食の摂取時刻の調節とその効果

Solution and Consulting / 質疑応答

【事前アンケートのご質問について解説致します】

内容によって一部回答できない場合がございますのでご了承ください。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

参加申込書 “食”行動科学 ～心と脳・体の仕組み～

セミナーコード

1101-170601

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/6/1 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			通信欄	
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				